

第 6 回田辺市総合計画審議会 会 議 録

第6回田辺市総合計画審議会会議録

日 時	平成 29 年 3 月 27 日（月）午後 1 時 30 分～午後 2 時 20 分
場 所	田辺市役所 本庁 3 階 第 1 会議室
出席委員	21 名
欠席委員	8 名
会議事項	1. 開会 2. 議事録署名委員の選出 3. 議事 (1) 第 2 次田辺市総合計画（案）について ①基本構想案に対する市民意見の内容等について ②総合計画案の修正について ③第 2 次田辺市総合計画（案）について (2) その他 4. 副市長あいさつ 5. 閉会

1. 開会

委員の半数以上の出席を確認、総合計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定により、吉村典久会長から審議会の成立を報告。

2. 議事録署名委員の選出

田辺市総合計画審議会運営規則第 7 条第 2 項の規定により、本会議の議事録署名委員として多田委員、野口委員を指名。

3. 議事

(1) 第 2 次田辺市総合計画案について（事務局から説明）

- ①基本構想案に対する市民意見の内容等について
- ②総合計画案の修正について
- ③第 2 次田辺市総合計画（案）について

【質疑応答】

(A 委員)

もっと早く言うべきであったが、暖かくなると旧田辺市内、どこに行っても蚊が多く、蚊が少なくなれば快適な生活を送ることができるのではないかと考えている。特に最近、蚊が多くなってきているように思う。中辺路地域で畑作業を趣味でやっているが、蚊は少ない。しかし、ダニやブトが多く、それらがなくなれば快適になるのではないかとと思う。

私は蚊のない快適なまちにするため、インターネットで情報を収集し、自分の住んでいる地区において毎月回覧板を作成している。しかし、効果が挙がっていない。一地域だけ努力

しても対策にならないので、市が実施してもらえれば効果があるのではないかと。そういった内容を追記してもらいたい。95 ページの将来あるべき姿で、「美しいまちづくり」を「美しく健康的なまちづくり」に変更し、そういうことをさらっと書けばいいかと思った。

(事務局)

蚊の問題等については、環境衛生、快適に関連するところかと思う。環境浄化や美化活動の取組の推進等、美しいまちづくりについては、担当課において取り組んでいるところであるが、一度検討させていただきたい。

(B 委員)

長い時間をかけて素晴らしい計画を作っていただいたと思うが、市民にとって読みづらい部分がある。例えば、基本構想の 13 ページでは、まちづくり、まちづくりと同じ言葉が続いており、読みたくなってしまう。「まちづくりの理念は、取組を進める上で基本姿勢となる考えであり」といったような表現で、できるだけ簡略化を図り、私たち市民が読みやすいようにしていただきたい。細かいかもしれないが、誰でもすぐ読める、誰が読んでも分かりやすい表現でなければ、市民に伝わらない。私たち市民が一緒になって進めていかなくては、市職員だけが努力しても、計画内容の実現はならないと思うので、分かりやすい表現に修正していただけるとありがたい。

(事務局)

おっしゃるとおりで、市民の皆さんにとって分かりやすい計画となるよう修正を検討させていただきたい。

(C 委員)

市民意見に対する回答について、これはこういった形で公表するのか。

(事務局)

市民意見の結果につきましては、本日審議会にて委員の皆様に確認いただいた後、市のホームページにて公表させていただく予定となっている。

(C 委員)

内容が良い、悪いという話ではなく、資料 3 ページの No.15 の意見に対する回答について、「I ターンについては、本市出身者のふるさと回帰と表現しています」となっているが、I ターンはふるさと回帰ではなく移住なので、その点で今後指摘されるのではないかと。特に回答を求めるものではないが、一度確認いただきたい。

(吉村会長)

適当な表現に差替えていただきたい。

(D 委員)

総合計画の進め方について、少し意見を述べさせていただきたい。本計画は理念的、抽象的に表現されており、個別具体的な内容については各個別計画において示されるとのことだが、実際どう進めるのかについては、第 7 章の計画推進でまとめている。計画推

進の中に健全な行財政運営という項目があるが、これからの行政においては、行財政運営が非常に大きな課題となってくるものと考えている。その際に、文中にもあるようにニーズが非常に多様化する中での効果的・効率的な職員配置や行政内部の横断的な連携をお願いしたいところであるし、特に各計画間の横断的な連携をお願いしたい。また、効率化というと、減らすことに傾きがちであるが、必ずしも減らすことが効率化につながるとは限らない。目には見えにくいだが、あることで維持できている機能、増やすことで効率的に動くという場合もある。あるいは、地域自治的にやったほうがいいこともあるということを踏まえた計画推進をぜひお願いしたい。

(事務局)

おっしゃるとおりで、減らすことが必ずしも効率化につながるとは限らないと考えている。市では様々な計画を策定しているが、企画広報課の職員が策定の場に参画することで、各計画間の連携を図っていきたいと考えている。

(2) その他(事務局から説明)

答申、議会への議案提出、総合計画の冊子製作等今後のスケジュールについて説明。

4. 副市長あいさつ

田辺市総合計画審議会の閉会に当たり、一言お礼の挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、昨年7月の第1回審議会から本日まで、約9ヶ月にわたるご審議の中で、様々なご意見・ご提案をいただき、感謝を申し上げます。

また、吉村会長様、野村副会長様におかれましては、審議会の運営にご尽力いただきましたこと、この場をお借りしまして、お礼を申し上げます。

さて、「第2次田辺市総合計画」につきましては、平成17年5月の合併以降、「第1次田辺市総合計画」に基づいて築き上げてまいりました、まちの基盤の上に立って、今後10年だけでなく、さらにその先を見据えながら、田辺市の魅力をより一層高めていくための礎となる、大変重要な計画でございます。

本日、ご承認をいただいた最終案を基本として、4月14日には、吉村会長様より、「答申」をいただく予定となっておりますが、委員の皆様からいただいたご意見やご提言を真摯に受け止め、本計画に掲げるまちの将来像「人と地域が輝き、未来へつながるまち田辺」の実現に向けて、行政一丸となって、まちづくりを進めていく所存でございます。

本日をもって、予定していた審議は全て終了となりますが、地方創生の動きも本格化し、地域間競争が激しさを増す中で、田辺市の有する豊かな地域資源を生かしながら、市民の皆さんとともに、まちづくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、委員の皆様には、より良いまちづくりのため、今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。最後になりましたが、出席の委員の皆様方のご健勝とご多幸を、それから田辺市のますますの発展を祈念し、お礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

5. 閉会